

R 8 年 5 月 放 送 分
**「リスナーからのご意見・ご感想/
東北防衛局がおくるラジオ番組の重点を紹介」**
(日本の防衛 Q & A)
(自衛隊百科)

R8. 4. 23 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局から 2 名の職員にお越しいただきました。
はじめに自己紹介をお願いします。

【室長】

はい、地方協力確保室長の佐藤です。昨年 7 月の放送では、報道官として広報紙について、紹介させていただきました。この 4 月、地方協力確保室長に着任しました。本日はよろしくをお願いします。

【高橋】

はい、同じく地方協力確保室の高橋です。
先月の放送に続いて 2 回目の出演です。よろしくをお願いします。

【パーソナリティー】

こちらこそ、よろしくをお願いします。さて、今日はどんなテーマでしょうか。

【高橋】

はい。今日は、リスナーの皆様から寄せられた、昨年度の放送に対するご意見やご感想をご紹介しますと思います。ご意見・ご感想については、昨年も紹介しましたが、番組をより良いものにするために、活用させていただいています。また、私たち職員にとって、励みになるコメントも多く寄せられています。

【パーソナリティー】

リスナーの方からの反応は、放送にたずさわる私も関心があります。是非をお願いします。

【高橋】

はい。では早速、高橋が紹介していきます。

山形県米沢市の30代の方から、「米軍再編に係る訓練移転について、普段の暮らしでは、ほとんど影響がないのでこういった問題やニュースにはあまり関心がなかったのですが、広く、日本、という視点でみると、大切な問題で早急に解決したい課題なのだろうと思いました。航空機の訓練における影響の軽減は、その身になってみないと感じにくい問題で、今回、耳にすることで、他人事から自分事として聞くことができました。」というご感想をいただきました。

【パーソナリティー】

これは昨年9月に放送した「訓練移転（ATR：Aviation Training Relocation）について」のご感想ですね。

【室長】

そうですね。在日米軍の航空機が、一定期間、自衛隊施設に移動して、自衛隊と共同で行う訓練について紹介したのもですね。在日米軍飛行場周辺での訓練活動の影響の軽減について、興味を持っていただき、ありがたく感じています。

【高橋】

続きまして、秋田県湯沢市の50代女性から、「最寄りの一関市の若い人が出演していて興味を持った。工事に必要な予算の調整・執行業務を若い人が行っていると知り感心した。」というご意見をいただきました。

【パーソナリティー】

私も若手職員の方が多岐に渡る仕事を頑張っているお話を伺ったときは、東北防衛局の職場の良い雰囲気を感じることができました。

【室長】

ありがとうございます。これからも若手職員から職場環境や仕事でのエピソードなどを紹介し、リスナーの皆様にも東北防衛局の業務へ関心を持っていただければと思っています。

【高橋】

続きまして、福島県福島市の20代女性から、「東北のかなめという広報紙が発行されているということをはじめて知りました。硬い内容で、文字ばかりなのは、と半信半疑でしたが、HPの広報紙を開いて驚きました。訓練の内容だけでなく、パラスポーツの運動会やお祭りに空上げなどなど、盛りだくさんな内容で、とても楽しく拝見できました。特に空上げは、どんな味なのかとても興味がわきましたし、東北防衛局に一気に親近感がわきました。過去の広報紙を見つつ、次号発行を楽しみにしたいと思います。」というご感想をいただきました。

【パーソナリティー】

広報紙すごくおもしろそうですね。私も読んでみたいと思います。

【室長】

貴重なご感想をいただきありがとうございます。東北のかなめは、毎号、最新の行事や活動などについて、見やすくそして分かりやすくお伝えできるよう、東北防衛局の報道官が頭を悩ませつつも、工夫して作成しています。今年度の広報紙も是非、ご覧になってください。

【高橋】

続きまして、秋田県横手市の40代女性から、「ある程度の硬さは大事と思うが、わかりやすい言葉を使ってほしい。」、福島県喜多方市の30代女性からは「地域の方とのほっこりエピソードや日常系の話題なども、是非お聴きしたいです。」というご意見をいただきました。

【パーソナリティー】

さて、ここまで、リスナーの方から参考になるご意見・ご感想、また厳しいご感想もありましたが、室長、どうですか？

【室長】

はい、改めて多くのリスナーの皆様に番組を聞いていただいていることがわかりました。貴重なご意見、ご感想、大変ありがとうございます。いただいたご意見を踏まえ、原稿の作成や番組の収録をしてい

きたいと思います。

さて、東北防衛局では、防衛に関する各種施策を円滑かつ効果的に実施させていただくためには、地方公共団体や地域の皆様のご理解とご協力が不可欠と考えています。そのため、東北防衛局は、このラジオ番組をととても大切なものと思っています。基本方針も定めており、3つの重点に沿って、番組をお届けしたいと考えています。

【パーソナリティー】

3つの重点ですか？具体的にはどのようなものでしょうか？

【室長】

はい、一つ目は防衛白書、防衛予算など防衛に関する重要な施策をお送りしようと考えています。

【パーソナリティー】

なるほど。日本の防衛政策全般に関する重要なもの、というイメージでしょうか？

【室長】

はい。そのとおりです。例えば防衛白書については、非常に重要な防衛省の取り組みが記載されています。ここでは、その内容を詳しくご紹介しようと考えています。

二つ目は東北防衛局や東北地方に関係のある施策をお送りしようと考えています。

【パーソナリティー】

それはどのようなものですか？

【室長】

はい。例えば東北各地に所在する防衛施設の周辺では、防衛施設の周辺地域の負担軽減を目的に、地方公共団体が行う生活環境の整備等に必要な事業に対して助成を行っています。このような取り組みについて、実際に業務を担当している職員から紹介しようと考えています。

【パーソナリティー】

なるほど。では、三つ目はどのようなものでしょうか？

【室長】

はい。三つ目は東北防衛局を知ってもらい、東北防衛局に関心を持ってもらう施策を発信したいと考えています。東北防衛局が主催するイベントや防衛局職員の採用情報を紹介していきます。

【パーソナリティー】

いろいろなテーマがありそうで、私も楽しみです。

本日は、地方協力確保室の佐藤室長と高橋事務官から、リスナーから寄せられたご意見・ご感想と令和8年度の重点分野をご紹介します。どうもありがとうございました。

【室長・高橋】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。